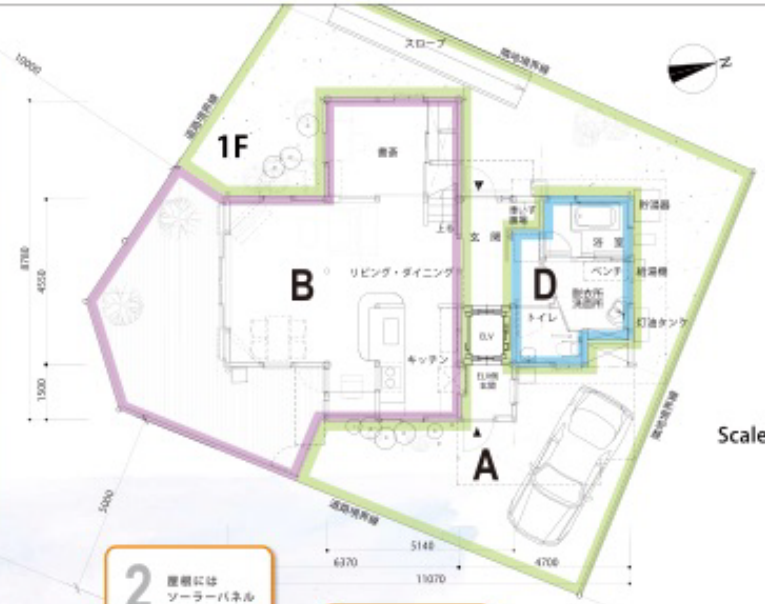
いつでも したいことが したいときに したいように できる家。

身体機能に何らかの制限がある人たちにとって、社会には多くバリアが実在し、まちなかにある段差や、建築物、意識のバリアなどと共存するには、相当なエネルギー、時間、また人の手を必要とする。施主は事故による半身不随、ADLは自立をしているが、車いすを常時使用している。せめて自分の家では、ストレスなく過ごしたい、大好きな掃除もしたい、気軽に人を呼びたい、将来の不安を解消したい、環境に配慮したい、1日中陽が入る家にしたい…などの要望を受け、"いつでも、したいことが、したいときに、したいように、できる"すまいを施主と丁寧に時間を重ねて、作り上げた住まいである。



Scale 1:100

建築地・建築物概要
所在地：東京都郊外　家族構成：2人（48代のご夫婦）　敷地面積：188.8㎡　区域区分：第1種住居地域
高度地区：指定なし　建蔽率：60%　容積率：200%　延床面積：78.66㎡　工事費：30,135,603円
外部仕上：屋根：ガルバリウム鋼板平葺　外壁：サイディング
内部仕上：壁天井：クロス、シナ合板　床：タイル、コルクタイル、無垢フローリング

A 配置計画・アプローチ

動線がスムーズだと気持ちが楽だね A-1

車いすで出入りできる玄関が2方向あるから、非常時も安心
敷地境界から間に離れずにアプローチできる動線を確保
SWは通り抜けできるので、正面玄関のある1階と、2階への移動を可能にした

ちょっと先の事まで考えてあるから安心ね A-2

玄関の車いす置場は、電動車いすの充電もできるようにコンセントを設置

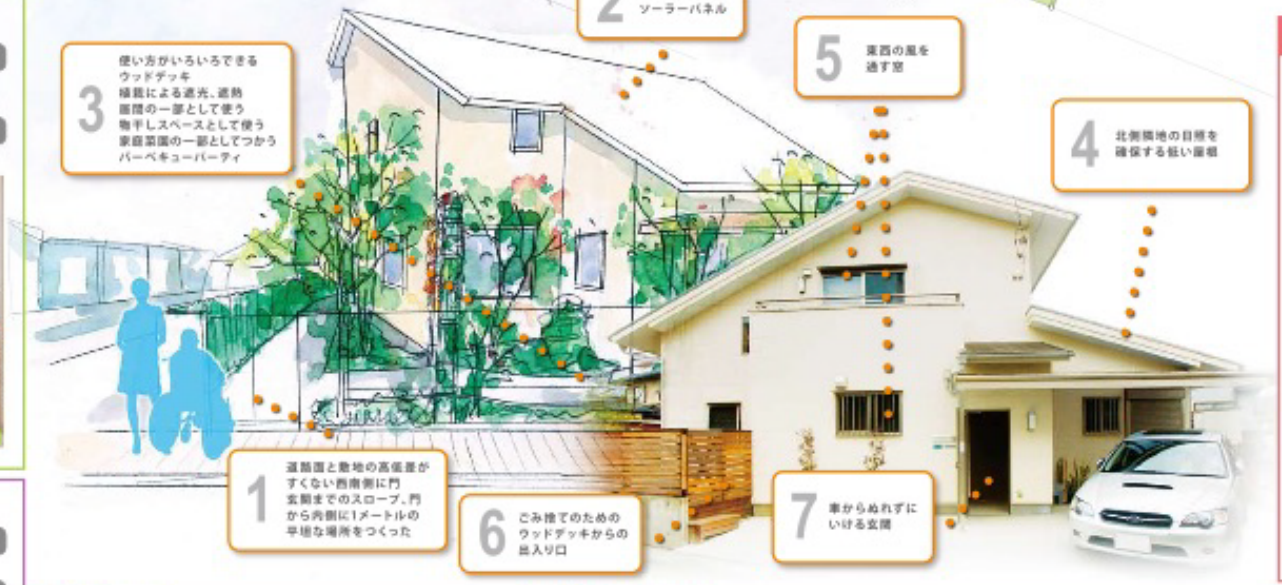
B リビング・ダイニング・キッチン

開放感のあるリビングがお気に入り B-1

浴室とデッキがフラットなので、車いすで自由に行き来できる

暖かい工夫がいっぱい B-2

低い高さのカウンターでも壁の窪みをつけたから、車いすでも大丈夫
収納棚の一部に、ポストを組み込んだから、車いすからでも、取出し可能



C 寝　室

安心して眠れるよ C-1

車いすでも動きやすい広さの寝室は、テラスと段差がなく、緊急時にも避難しやすい

すっきり暮らせるね C-2

大きな襖戸と、収納があるからシンプルな空間

D 浴 室・トイレ

いつでもひとりで入れるんだ D-1

引き出し付きのベンチで衣類の着脱を行い、同じ高さ（FL+450）の洗い場にそのまま移動できる

例々の出入り口・同じ器具ってユニークね D-2

シャワー付き水栓カランをそれぞれの方向から使用可能

風呂掃除もできるようになりました D-3

車いすでも掃除できるよう入り口の開口幅を確保
扉の開閉も可能

車いすで使えるトイレが2ヶ所あるから安心だね D-4

保護時間が長くても、エアコンがついているから快適
上下左右に可動する手すりは、訪問者にも対応可能
洗面パネル壁を外すと、浴室とつながる

E 環境への配慮

太陽の恵み、自然の力に感謝です E-1

太陽熱を床暖房と給湯に利用し、3面開口により多くの風を取り込むことで、冷房の節減、さらに十分な明るさの確保

家中どこも同じ温度で過ごせるね E-2

充実断熱材の未施工、風の通り道の確保、十分な断熱材・ペアガラスなどにより、一年中快適な室内環境を実現